

報告事項

1. 庶務報告

(1) 会員数

	平成 21 年 3 月 31 日	平成 22 年 3 月 31 日
会 員	4,865 名 (正会員 4,563 団体 302)	4,934 名 (正会員名 4,626 団体 308)
賛助会員	15 社	15 社

1) 平成 21 年度新入会員数 (団体・賛助除く) 379 名

<職種別新入会者>

医師 82 名、歯科医師 7 名、保健師 31 名、助産師 11 名、看護師 92 名、
栄養士 5 名、養護教諭 4 名、保育士 5 名、教職・研究職 96 名、その他 46 名
合計 379 名

2) 平成 21 年度退会会員数 (団体・賛助除く) 293 名 + 転居先不明 49 名

<職種別退会者>

医師 104 名、歯科医師 8 名、保健師 17 名、助産師 7 名、看護師 52 名、栄養士
11 名、養護教諭 2 名、保育士 4 名、教職・研究職 54 名、その他 20 名、不明 63
名 合計 342 名

参考

<職種別会員>

医師 1,926 名、歯科医師 133 名、保健師 194 名、助産師 88 名、看護師 450 名、
栄養士 50 名、養護教諭 19 名、保育士 37 名、教職 778 名、その他 221 名、
不明 730 名 合計 4,626 名 (平成 22 年 3 月 31 日現在)

(2) 人事について

1) 支部長交代

(支部)	(旧)	(新)
富 山	摂津 浩二 (セツ コウジ)	本間 一正 (ホンマ カズマサ)
三 重	多喜 紀雄 (タキ ミチオ)	庵原 俊昭 (イハラ トシアキ)
奈 良	吉岡 章 (ヨシカ アキラ)	嶋 緑倫 (シマ ミドリ)
山 口	古川 漸 (フルカ スム)	市山 高志 (イチヤマ タシ) (敬称略)

2) 代議員交代

(支部)	(旧)	(新)
岡山県	岡 鉄次	下野 勉 (敬称略)

3) 平成 21 年度名誉会員

東京都	村上 睦美 (ムラカミ ムツミ)	
石川県	佐藤 保 (サトウ タモツ)	
石川県	右田 俊 (ミギタ トシ)	
石川県	兼松 謙三 (カネマツ ケンゾウ)	
島根県	飯塚 雄哉 (イヅカ ユウヤ)	(敬称略)

4) 訃報

- ・岡 錠次(カ エイジ)先生 代議員 平成 21 年 11 月 30 日 70 歳
- ・今村 榮一(イムラ エイチ)先生 名誉会員 平成 22 年 1 月 23 日 91 歳
- ・藤枝 憲二(フジエダ ケンジ)先生 代議員 平成 22 年 3 月 19 日 62 歳

2. 日本小児保健学会開催計画

(1) 第 57 回 (平成 22 年) 日本小児保健学会

会頭：内山 聖 教授 (新潟大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野)

メインテーマ：「子ども達の未来を信じよう、そして、
子ども達が夢を持てる社会に」

日時：平成 22 年 9 月 16 日 (木) ~18 日 (土)

会場：朱鷺メッセ

(2) 第 58 回 (平成 23 年) 日本小児保健学会

会頭：大西 文子 教授 (藤田保健衛生大学医療科学部看護学科小児看護学)

日程：平成23年9月1日 (木) 2日 (金) 3日 (土)

会場：名古屋国際会議場

仮テーマ：「子どもの育ちを見守り、地域で暮らす子どもと家族にできること！」

3. その他

(1) 公益法人ならびに各種規則整備について (公益法人担当理事)

(2) 平成 22 年度名誉会員の推薦 (庶務担当常任理事)

各都道府県支部長は、平成 22 年 6 月末日までに事務局まで提出してください。

(3) 小児保健奨励賞 (協会活動担当常任理事)

1) 各都道府県支部長は、平成 22 年度実践活動助成候補者がありましたら、推薦状を会長宛平成 22 年 6 月末日までに事務局へ郵送してください。

2) 研究活動助成・実践活動助成の各選考委員選任中

(4) 平成 21 年度活動状況報告提出のお願い (編集担当常任理事)
各都道府県支部長は、支部活動報告を 400~600 字にまとめて、平成 22 年 5 月間
末までに編集部へ提出してください。

(5) 第 27 回小児保健セミナー開催 (教育普及担当常任理事)
日時：平成 22 年 6 月 20 日 (日) 10:00 AM~4:30 PM
会場：国立成育医療研究センター講堂 (東京都世田谷区大蔵 2-10-1)
テーマ：『保育の問題をめぐって』

(6) 都道府県各支部主催の研修会支援について (会長)

(7) 発育委員会の下に「平成 22 年度乳幼児身体発育調査小委員会」新設
委員長 加藤則子 (国立保健医療科学院生涯保健部長)
瀧本秀美 (国立保健医療科学院生涯保健部母子保健室長)
秋山千枝子 (あきやま子どもクリニック院長)
益子まり (川崎市川崎区保健福祉センター川崎保健所長)

(8) 定期立ち入り検査 (厚生労働省) 平成 22 年 2 月 23 日実施

審議事項

1. 平成 21 年度事業実施報告(案)

(1) 役員改選

1) 会長・副会長・常任理事・監事

新役員 業務分掌		
会 長	衛藤 隆	
副 会 長	福永 慶隆	(庶務担当)
副 会 長	大西 文子	(協会活動担当)
常任理事	五十嵐 隆	(財務担当)
常任理事	加藤 達夫	(予防接種・感染症担当)
常任理事	小板橋 靖	(編集担当)
常任理事	高橋 孝雄	(教育普及担当)
常任理事	平岩 幹男	(公益法人担当)

監 事	柳澤 正義	
監 事	鈴木 順造	

2) 理事25名・代議員（200名）が選任された。（平成21年度秋季総会資料参照）

(2) 平成 21 年度総会

1) 春季総会

平成 21 年 4 月 17 日（金）、奈良県立婦人会館において、春季総会が開催された。社員総数 212 名（理事 25 名、代議員 187 名）出席者数 163 名（うち委任状 112 通）であり、総会は成立した。議長に渡辺 博氏、議事録署名人に齋藤麗子（東京都）・服部益治（兵庫県）両氏を選任し開会した。

下記の議案が承認された。

I：平成 20 年度事業報告

II：平成 20 年度収支決算および監査報告

2) 秋季総会

平成 21 年 10 月 30 日（金）、大阪国際会議場において秋季総会が開催された。社員総数 211 名（理 25 名・代議員 187 名）に対し、出席者数 132 名（うち委任状 106 通）であり、総会は成立した。議長に大菌 恵一会頭、議事録署名人に福永 慶隆・前田美穂（東京都）両氏を選任し、開会した。

下記の議案が承認された。

I：平成 21 年度事業報告

II：平成 22 年度事業計画案

III：平成 22 年度収支予算案

(3) 役員会等の開催

全国理事・支部長会 2 回、新理事会 1 回、常任理事会 5 回、代議員会 1 回、合同委員会 1 回、編集委員会 6 回、予防接種・感染症委員会 6 回、発育委員会 1 回、小児救急の社会的サポートに関する委員会 4 回、学校保健委員会 6 回、栄養委員会 1 回、平成 22 年度幼児健康度調査委員会 1 回、平成 22 年度幼児健康度調査小委員会 3 回、小児医療委員会（チャイルドシート検討委員会 1 回・事故予防検討会 1 回）2 回、平成 21 年度中央選挙管理委員会 2 回、研究助成委員会 1 回、実践活動委員会 1 回、健やか親子 21 推進協議会第 4 課題 1 回、健やか親子 21 推進協議会 1 回、健康日本 21 推進全国連絡協議会 2 回を、平成 21 年度に開催し、本協会の事業遂行上必要な案件を協議、決定し運営した。

(4) 日本小児保健学会の開催

第 56 回日本小児保健学会を開催。

会頭：大藪 恵一教授（大阪大学大学院医学系研究科情報統合医学講座小児科学）

日時：平成 21 年 10 月 29 日（木）・30 日（金）・31 日（土）

会場：大阪国際会議場（大阪）

テーマ：「すくすく育て、こころとからだ」

参加者数は約 1,100 名であった。

(5) 機関誌等の刊行

- ・「小児保健研究」68 巻 3 号～69 巻 2 号を発刊した。
- ・「小児保健シリーズ」No. 63 「小児保健ネットワーク」を刊行した。
- ・「小児保健シリーズ」No. 64 「乳幼児健診とその周辺、いま知っておきたいこと」を刊行した。

(6) 小児保健セミナーの開催

第 26 回小児保健セミナー「乳幼児健診とその周辺、いま知っておきたいこと」

平成 21 年 6 月 21 日（日）に国立成育医療センター講堂に於いて開催した。

（参加者：246 名）

(7) 講演会等の開催

1) 市民公開講座開催（予防接種・感染症委員会）

日時：平成21年11月3日

場所：国立成育医療センター

- ・朝日新聞社と共催、厚生労働省後援、国立成育医療センター協力
- ・参加者250名
- ・12月23日朝日新聞朝刊に記事掲載

2) 「小児保健研究」第69巻2号に掲載予定の座談会開催（予防接種・感染症委員会）

日時：平成21年12月27日（日）

場所：国立成育医療センター総長室

テーマ：「指導者に必要な予防接種の最新知識について」

3) 判定技術養成講習会（DENVERⅡーデンバー発達判定法ー）を2回開催した。

4) 支部研修会開催助成

- ・「平成 21 年度岩手県小児保健研修会」
- ・「平成 21 年度徳島県小児保健研修会」
- ・「第 20 回石川県小児保健学会および研修会」
- ・「平成 21 年度栃木県小児保健協会総会・研修会」

- ・「秋田県小児アレルギーフォーラム 2009」
- ・「母子保健研修会」（山梨県小児保健協会）
- ・「平成 21 年度宮崎県小児保健研修会」
- ・「愛知県小児保健協会学術研修会」

(8) 協会活動

- 1) 編集委員会、予防接種・感染症委員会、発育委員会、小児救急の社会的サポートに関する委員会、学校保健委員会、栄養委員会、小児医療委員会（チャイルドシート検討委員会・事故予防委員会）、平成 22 年度幼児健康度調査委員会、健やか親子 21 協議会第 4 課題のそれぞれが本協会の目的のために活動した。
- 2) スマトラ沖地震、ハイチ地震、チリ大地震へ義援金を拠出した。
- 3) 第 16 回日本小児看護学会学術集会ランチョンパフォーマンスセミナー（平成 21 年 9 月 6 日（日）：高山市民会館）において、「家族の傷害予防とチャイルドシート」をテーマとしチャイルドシート啓発活動を行った。

講演：服部益治(兵庫医科大学小児科)

デビット中林 (NPO 法人チャイルドセーフティ)

座長：大西文子 (藤田保健衛生大学医療科学部)

- 4) 小児保健奨励賞について

《研究助成》

○本郷 実 氏 (信州大学医学部保健学科)

「中学生の生活習慣病調査研究と社会的取り組み」

《実践活動助成》

○関 秀俊 氏 (金沢大学医学部保健学科)

「NPO法人 子どもの虐待防止ネットワーク石川 (CAPNET石川)」

○中川恒夫 氏 (子どもをタバコから守る会・愛知 世話人代表)

「愛知県内の遊園地、公園等の脱タバコ対策に関する継続調査」

- 5) 支部活動

全国 47 支部は、研修会の開催、機関誌の発行等を行っている。

(平成 20 年度支部活動は、小児保健研究第 68 巻 4 号 P. 498-512 を参照)

(9) 日本小児科連絡協議会

- 1) 日本小児科連絡協議会 6 回 (日本小児科学会・日本小児科医会との合同で開催)
- 2) 合同委員会
 - ・「子どもをタバコの害から守る」合同委員会 4 回
 - ・自動車乗車中の子どもの安全推進合同委員会 3 回

- ・子どもとメディア委員会 1 回
- ・予防接種推進専門協議会 1 回
- ・「(仮称)子育て支援ハンドブック」編集委員会 1 回
- ・「第4回子どもの食育を考えるフォーラムー子どもの食は大丈夫?ー」1 回

2. 平成21年度 収支決算案ならびに監査報告 (資料P. 9~14)

3. 次々期日本小児保健学会 会頭について

第59回日本小児保健学会 小田 慈先生(岡山大学保健学科教授)

日時等は、未定。

4. 総会次第 (別紙資料参照)

5. その他

(1) 「公的外部団体の科学研究における利益相反管理規定」承認の件 (資料P. 15、16)

当協会は、「平成22年度幼児健康度調査」を厚生労働科学研究費補助金を受け、実施する予定である。受託に当たり「利益相反委員会」と「利益相反管理規定」の整備は必須事項であり、ご承認をいただきたい。

(2) 「公益事業基金」設置並びに「公益事業基金に関する施行規定」設置の件(資料P. 17)

厚生労働省指導の下、平成20年度の内部留保超過分を解消する為、表記事案をご承認いただきたい。

1) 機関誌「小児保健研究」第70巻記念号発行基金

2) 公開講演会開催基金

その他

1. 各委員会報告 (資料P. 18~33)